

表紙について 竹野町三原の棚田

豊岡市には、三地区の三原（みはら）があります。一つ目は、京都府京丹後市久美浜町との境にある集落です。二つ目は、但東地域の真ん中に位置する所にあります。三つ目は、写真にある竹野地域の三原です、標高の一番高い所にあります。

地区の戸数は37戸あり、農地は田畑あわせて、8haあります。遊休農地1haで牛の放牧が実施されています。

地区では、かつてはハス祭り、積雪が多いのを逆手に取った、雪まつりを2月に実施しており、多くの人で賑わっていました。現在は、お盆前の朝市に向けて、集落内のあちらこちらでお花を栽培されており、10月には、三原の風まつりが開催されています。

今後、この美しい風景と農地を守るためには、人材の確保と特産品の開発が必要です。

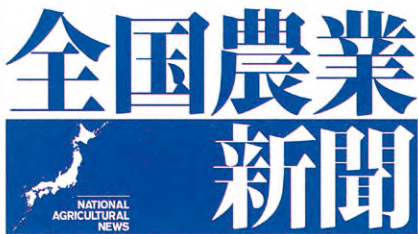
(農業委員 尾口 正信)



棚田の風景



お盆前の朝市



全国農業新聞を購読してみませんか!

農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円(送料、消費税込)

*お申し込みは
農業委員会
事務局へ

編集後記

港認定こども園での「食農教育」。四月にジャガイモ、五月にサツマイモを植え付け、オクラのタネも蒔きました。子どもたちは砂まみれになりながらも収穫が楽しみです。みんなで摘んだ畑の隅のヨモギは「よもぎ団子」のおやつになりました。

五月、とれたての天然ワカメ。さっと湯通しするときにきれいな緑に！びっくりしながら「ワカメのしゃぶしゃぶ」をいただきました。十一月には、「セコガニ」も給食に登場します。

子どもたちは、自分の手でタネをまき苗を植え、収穫しておいしく食べることに、その地域の海の幸・山の幸を使った食文化「伝統食」に触れることで多くのことを学びます。農業委員会の一員として、一人の大人としても地域の代表的な産業「農業・水産業と地域の文化、伝統食を次世代へ継承する役割を担いたいと思っています。」

(編集委員長 高尾利美)



農業委員会だより第43号は私たちが担当しました。

後列左から 石橋重利、尾口正信、水嶋義彦
前列左から 森井 脩、高尾利美、上坂光広